



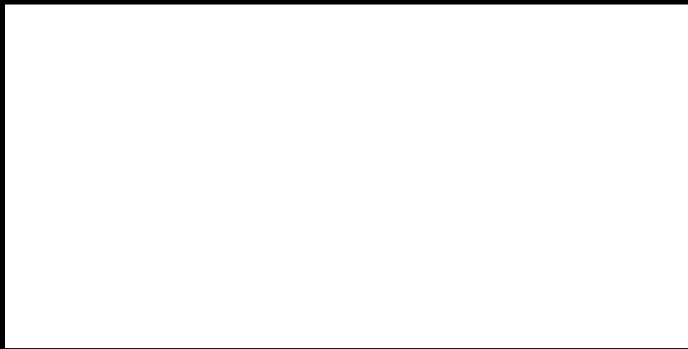
建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

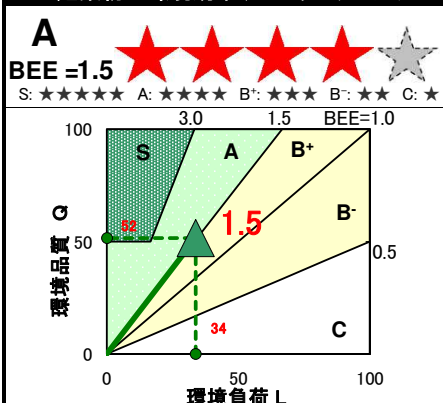
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)WAKビル新築工事	
建設地	中央区道修町3丁目	
建築用途	事務所	
建築主		
設計者		
敷地面積	662.41	m ²
建築面積	474.21	m ²
延床面積	3,912.37	m ²
構造/階数	S造	/ 地上9階
完了年(予定)	2023年6月	

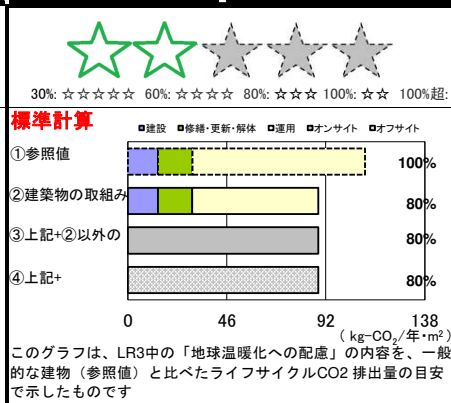
1-2 外観



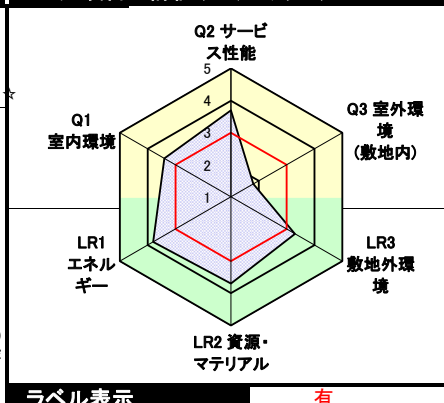
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



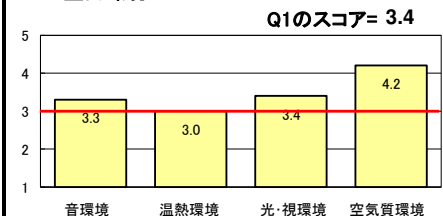
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



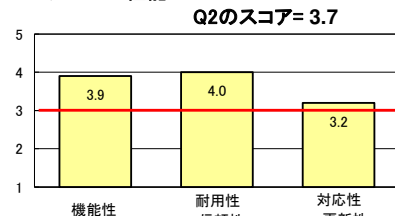
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

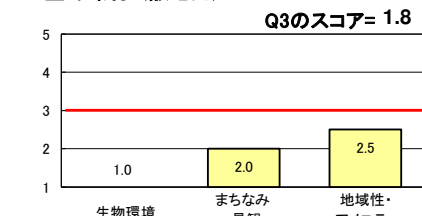
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

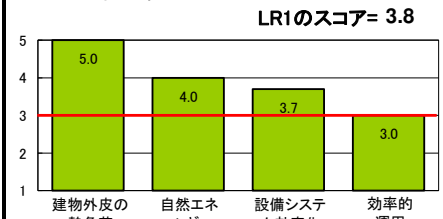


Q3 室外環境(敷地内)

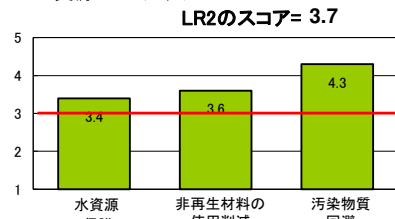


LR 環境負荷低減性

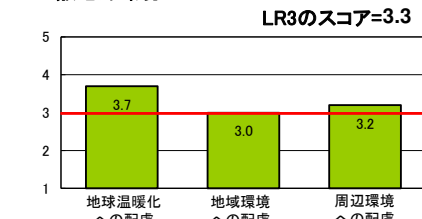
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

歴史ある葉間屋街である立地に対して、周辺にところどころ残る町家の要素を現代的に解釈した外観によって周辺環境になじむ計画としつつ、周囲のオフィスや背面の高層住宅へも開口部や設備配置を工夫することで配慮。室内環境においては明るく開放的な、健やかに働ける事務所ビル。

その他

卓越風による風環境のシミュレーション

Q1 室内環境

1人当たりの換気量30m³/h・人 換気回数2回/hとした。F☆☆☆☆建材を採用した。

Q2 サービス性能

バリアフリーや使い勝手、メンテナンス性に配慮した。

Q3 室外環境(敷地内)

周辺にところどころ残る町家の要素を現代的に解釈した外観によって周辺環境になじむ計画とした。また、壁面後退や緑化により、周辺のまちなみや風景との調和に配慮している。

LR1 エネルギー

自然換気可能な開閉可能な窓とした。ガラスにはLow-Eペアガラスを採用し、また、壁・屋根の断熱性に配慮。照明にはLEDを採用した。また、屋光利用を積極的に取り入れる為自然採光シミュレーションを行っている

LR2 資源・マテリアル

環境に配慮する為に、建物に使用される断熱材はノンフロンを採用している。

LR3 敷地外環境

卓越風による風環境のシミュレーションを行っている。またごみ置き場を確保した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.7
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率: 80%

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	緑地を設置

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0
配慮事項	BPI _m 0.83

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.7
配慮事項	自然採光シュミレーションを行っている

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況 適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI_mが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI_mが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） - (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.72
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.73	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.73